![MCED00187_0000[1]]()![MCj02906520000[1]]()

第１学年　NO.１「数学を好きになるには…」

**数学を好きになるには・・・・!**

　この方法がわかればだれも苦労はしないのですが、これまで先生が経験してきた中で、「こうすれば好きになるのかな」「得意になるのかな」と思ったことがいくつかありますので、それを紹介したいと思います。

１　「消しゴムは使うな」

数学の授業では、消しゴムはできるだけ使わないようにする。

　計算を間違えるたびにいちいち消していると、どこでつまずいたのかがわからなくなり、同じ間違いを繰り返してしまいます。間違えた計算でも途中の過程を残しておくことが重要だと思います。

２　「覚えるより理解」

答えがわからなければ、答えを見て、なぜそうなるのかを理解する。

　どうすればその答えになるのかがわかれば、理解できたことになります。数学は覚えるより理解することのほうが大切なので、そんな時は迷わず答えを見ましょう。

３　「できるところからやる」

　　こうすることで自分がどこで分からなくなったか確認できます。

４　「授業をしっかり聞く」

　　とにかくこれが一番です。

その授業がどれだけ理解できたか。数学の上達はその積み重ねによるところが大きいです。その一番のもとになっているのが授業です。わからないところをその日のうちに解決して、次の授業に臨むようにしましょう。

５　「必ず１日に１回数学に触れる時間を作る」

　　これが自主勉ノートです。

１日１ページでいいのでとにかくどのような形でもいいので数学に触れる、数学のことを考える時間を作ることです。教科書を１ページ写したり、問題を１問解くだけでも構いません。